

ながのご縁を **縁** 信都・長野市

長野市の未来をともに考える

～長野市子ども議会が開催されました～

令和3年度長野市子ども議会が、3月25日、市役所の議場で開催され、市内の小・中学生、高校生の代表21名が参加しました。子ども議会は、地方自治に興味・関心をもってもらうとともに、感性豊かな児童・生徒の意見を市政の施策に生かすものです。

新型コロナウイルス感染症の第6波では、分散登校など、子どもたちにとって精神的な不安も大きかったと思います。そのような環境下にあっても、一生懸命、長野市の課題や将来を考える子どもたちに、大きな拍手を送りたいと思います。

私たち議員も当日は傍聴席から、環境や福祉、農業などに関する「子ども議員」の様々な主張に耳を傾け、長野市の今を、未来を、ともに考えさせられるよい機会となりました。

ながの だより 市議会

令和4年
3月定例会
NO.118

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2～5
- ◆市政に関する質問の要旨…6～13
- ◆常任・特別委員会のうごき…14～15
- ◆市民と議会の意見交換会…裏表紙

3月25日に開催された「長野市子ども議会」には、市内の小・中学生、高校生の代表21名が参加し、市の課題や将来について、質問や提案を行った



「本誌は再生紙を使用しています」

5月のホームゲーム
(長野Uスタジアム)

トップチーム：松本山雅FC戦5/15(日)19時、FC岐阜戦5/29(日)14時
レディース：マイナビ仙台レディース戦5/4(水)15時、大宮アルディージャVENTUS戦5/7(土)15時、ノジマステラ神奈川相模原戦5/14(土)14時



令和4年度予算を可決

一般会計予算額は1,622億7,000万円

3月市議会定例会が2月24日から3月22日までの二十七日間の会期で開かれ、令和4年度一般会計と各特別会計、各企業会計の予算案、令和3年度一般会計補正予算案などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（4～5頁参照）。ここでは一般会計予算等議案の概要について紹介します。

一般会計予算の概要

令和4年度一般会計予算は一千六

百二十二億七千万円で、前年度比六

十九億九千万円の増額となりました。

新年度予算では、基幹収入である市

税の回復が見込まれる中、引き続き

人口減少・少子高齢化の進行に対応

し、必要な社会保障関係経費を確保

した上で、喫緊の課題である新型コ

ロナウイルス感染症対策や令和元年

東日本台風災害からの復興に対応し

た予算を編成しました。

主な事業

◆新型コロナウイルス感染症対策

関連事業

【感染症対策】

●新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスワクチン接種

を希望する人に対し、追加接種（三

回目）や初回接種（5歳～11歳を含む一、二回目）を実施するための経費（一億九、七五二万四千円）

●新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染

拡大防止のため、医師会、医療機関

等と連携して各種対策を実施するた

めの経費（五億八、一五二万二千円）

●生活困窮者自立支援金

長野県社会福祉協議会の緊急小口

資金、総合支援資金の特例貸し付け

の限度額に達している等の困窮世帯

に対し、生活の自立を支援するため

に支援金を支給するための経費

（七、五五三万六千円）

【地域経済活性化・事業者支援】

●飲食推し店・プラチナチケット

新型コロナウイルス感染症の影響

を受けている飲食店の支援を目的と

して、飲食店限定の推し店プラチナ

チケット事業（発行総額六億円）を

長野市議会は3月定例会において、議会提出議案として「ロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議」を、全会一致で原案どおり可決しました。決議の全文を紹介します。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議

本年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法違反、国連憲章違反であり、国際社会の平和と秩序を脅かすもので、断じて容認できない。

今回の軍事侵攻によって、ウクライナの主要都市が攻撃され、一般市民を含め多数の死傷者が生じ、避難を余儀なくされている市民も多数に及んでいるとの報道は、国際社会に平和への連帯の動きを巻き起こしている。

プーチン大統領の核兵器使用を示唆する発言は、唯一の戦争被爆国として、断じて容認することはできない。

よって、長野市議会は、第18回オリンピック冬季競技大会及び1998年パラリンピック冬季競技大会を開催した都市として、世界の恒久平和を願い、ロシアによるウクライナ軍事侵攻に強く抗議するとともに、ロシアに対して、軍事侵攻の即時停止、ウクライナからの即時完全撤退を強く求める。

政府におかれては、関係各国及び国際社会との緊密な連携により、平和的解決に向けた外交努力及びウクライナに対する非軍事分野における人道支援に万全を期するよう強く求める。

以上決議する。

令和4年3月4日
長野市議会

実施するための経費

（二億九、四〇〇万円）

●キャッシュレス決済還元

新型コロナウイルス感染症の影響

で落ち込んだ市内経済の活性化及び

消費喚起とともに、感染防止対策と

しての非接触型決済導入の促進を目

的として、キャッシュレス決済還元

事業を実施するための経費

（三億一、三〇〇万円）

●プレミアム付き商品券

新型コロナウイルス感染症の影響

で落ち込んだ市内経済の活性化を目

的として、プレミアム付き商品券事

業（発行総額三十億円）を実施する

ための経費（三億七、三〇〇万円）

●戸隠スキー場親子滑走支援

新型コロナウイルス感染症の影響

でスキー場利用者が減少する中、市

内小学生のリフト料金を無料にする

ことにより、子どものスキー体験や

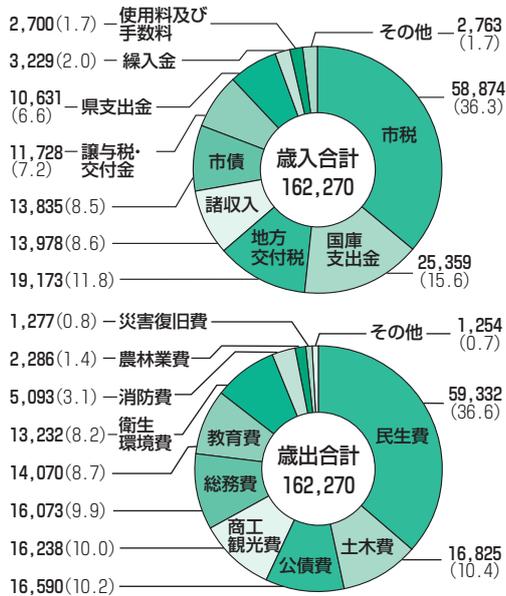
スキー離れた親のスキー利用にも

つなげ、新たな需要創出と地域活性

化を図るための経費（八〇〇万円）

令和4年度一般会計当初予算

単位は百万円、()内は%



※項目ごとの端数処理のため、構成比合計が100%にならない場合があります。

◆令和元年東日本台風災害に関する事業

【公共施設・インフラの再整備】

●長沼地区河川防災ステーション整備
長沼地区河川防災ステーション上に複合施設として、被災した長沼支所、長沼交流センター、水防センター、消防分団詰所を整備するための経費 (一億一、八七六万三千円)

●(仮称)豊野防災交流センター整備
被災した豊野公民館について、防災拠点機能を加え、地域住民の交流施設として、市営住宅沖団地跡地へ移転整備するための経費 (七、九〇〇万円)

【被災者支援・地域コミュニティ支援等】

●被災地復興支援

庁内に組織した被災地の復興を考える「ワン・ハート」による被災地区への復興支援、被災者への各種情報を掲載した「復興だより」の発行、復興に向けた地域活動等を支援するための復興支援金の交付を実施するための経費 (二、一〇七万三千円)

【農業者・中小企業支援】

●被災地区農地対策補助金

浸水エリア内の農地の荒廃化を防ぐため、農地の流動化を促して担い手への集積を図るとともに、被災地区の荒廃農地を優良農地に復元する取り組みを支援するための経費 (三、六五万四千円)

●災害関連資金融資預託金

被災した中小企業者等の資金繰りを支援するため、制度融資の災害関連資金に係る融資に必要な資金を、金融機関に預託するための経費 (一億円)

◆まちのにぎわい創出

【善光寺御開帳二〇二二】

●日本一の門前町大縁日実行委員会負担金等
善光寺御開帳期間中に文化芸術プログラムを中心とした、日本一の門



4月2日に行われた日本一の門前町大縁日オープニングパレード

前町大縁日を開催し、まちのにぎわいを創出するための経費 (一億二、〇二四万三千円)

●観光客受け入れ環境整備ほか

満足度向上に向けた受け入れ環境整備により、観光客の滞在時間の延長と周遊を促進し、にぎわいの創出と市内経済活性化を図るための経費 (六、九七〇万円)

【観光まつり補助金】

地域の魅力を高める観光まつり等に補助金を交付してにぎわいの創出を図り、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた市内経済の景気刺激策として、多くの集客が見込める大規模イベントに対し、景気回復枠上乗せ補助金を交付するための経費 (五、四九九万円)

【旧茶臼山市民プールへのスケート】

【ボード場整備】
東京二〇二〇オリンピック新種目のスケートボード競技について、令和元年度に廃止した旧茶臼山市民プールの後利用としてスケートボード場を整備するための経費 (四〇〇万円)

【(仮称)ながのこども館整備】
閉館した少年科学センターのリニューアルを行い、悪天候でも安心して遊べる屋内遊具施設を拡充した、(仮称)ながのこども館へ再整備するための経費 (三、八二二万円)



3月31日に閉館した少年科学センター。令和6年に(仮称)ながのこども館として開館を予定している

【若穂スマートインター整備】

高速道路の利便性向上や産業の活性化、周辺道路の渋滞緩和、災害時

3月定例会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対
 ※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況		
	新 友 会	改 革 ネ ット	共 産 党	公 明 党	無 所 属 A			無 所 属 B	新 友 会	改 革 ネ ット	共 産 党	公 明 党		無 所 属 A	無 所 属 B
市長提出議案等(56件) 議案(45件)	第1号	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第2号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市長提出議案等 議案	第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

←5頁に続く

の緊急輸送路としての活用など、多くの効果が見込まれるスマートインターチェンジを若穂に整備するための経費 (二億一、六〇〇万円)

◆スマートシティへの取り組み
 「長期戦略二〇四〇」新産業・IT・工業分野の検討からスマートシティの取り組みへと展開し、先端技術の活用による地域課題の解決、市民の暮らしの質の向上を実現するための経費 (二億三、八九五万八千円)

◆行政DXの推進
 今後、人口減少に伴い職員数の減少が見込まれる中、本市の行政DXを推進し、将来にわたり適切な行政サービスを提供していくための経費 (二億七、九一九万三千円)

主な議案の内容

長野市部設置条例の一部を改正する条例
 新産業創造推進局を設置することに伴い、改正されました。

長野市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例
 消防署の管轄区域を見直すことに伴い、改正されました。

長野市民生委員の定数を定める条例の一部を改正する条例
 民生委員の定数を見直すことに伴い、改正されました。

人事案件に同意
 副市長に西澤雅樹氏(新任・川中島町御厨)を選任すること、人権擁護委員に中澤義仁氏(再任・鶴賀田町)、小池千枝子氏(再任・高田)、渡辺雅子氏(再任・吉田三丁目)、町田良夫氏(再任・大豆島)、田中美枝子氏(再任・篠ノ井二ツ柳)、西澤範人氏(再任・川中島町上氷鉋)、林明氏(再任・川中島町御厨)、宮川親光氏(再任・戸隠祖山)、相澤尚子氏(新任・松代町東条)、小山安正氏(新任・真島町真島)、丸山康明氏(新任・大岡甲)、矢澤博氏(新任・豊野町大倉)を推薦することにそれぞれ同意しました。

令和3年度補正予算
 3月定例会で承認及び決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ百十五億四千九百六十二万四千元を追加し、一般会計予算の総額は一千七百五十一億六千五百三十七万五千元となりました。

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況		
	新友会	改革ネット	共産党	公明党	無所属A			無所属B	新友会	改革ネット	共産党	公明党		無所属A	無所属B
第26号 特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	承認	第1号 専決処分の報告承認を求めること(令和3年度一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	承認
第27号 児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	市長提出議案等 報告(8件)	第2号 専決処分の報告承認を求めること(令和3年度一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	承認
第28号 母子休養ホームの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○		第1号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	報告月日 2月24日						
第29号 地域情報通信施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第2号 専決処分の報告(施設管理上の事故による損害賠償額)							
第30号 信州新町萩野森の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	×	○		第3号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)							
第31号 人権同和教育集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第4号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)							
第32号 青少年保護育成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第5号 専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)							
第33号 水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第6号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)							
第34号 消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第7号 専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)							
第35号 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	第8号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	報告月日 3月8日							
第36号 芋井飯綱辺地総合整備計画を定めること	○	○	○	○	○	○	①諮問 第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	同意	
第37号 地方独立行政法人長野市民病院第3期中期計画の認可	○	○	○	○	○	○	議会提出議案 (2件)	第1号 ロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議(案)	○	○	○	○	○	○	可決
第38号 包括外部監査契約の締結	○	○	○	○	○	○		第2号 議会委員会条例の一部を改正する条例(案)	○	○	○	○	○	○	可決
第39号 市道路線の認定及び廃止	○	○	○	○	○	○		修正案 第1号 令和4年度一般会計予算	×	×	○	×	×	○	否決
第40号 工事請負契約の締結(大座法師池西高線道路改良工事)	○	○	○	○	○	○	請願(5件)	第1号 政府に揮発油税のトリガー条項発動を求める請願	×	○	○	×	○	○	不採択
第41号 工事請負契約の締結(〇市債国補信州新町小・中学校多目的棟建設外建築主体工事)	○	○	○	○	○	○		第2号 後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出についての請願	×	○	○	×	○	○	不採択
第42号 国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第3号 堤内地への芝生グラウンド整備に関する請願	○	○	○	○	○	×	採択
第43号 令和3年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○		第4号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願	×	○	○	×	○	○	不採択
第44号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第5号 「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	×	○	○	×	○	○	不採択
第45号 副市長の選任	○	○	○	○	○	○									

会派別所属議員名	会派名等	議員数	所属議員名						会派名等	議員数	所属議員名		
	会派別所属議員名	新友会	19	小泉 栄正 西沢 利一 北澤 哲也 加藤 英夫	三井 経光 手塚 秀樹 金沢 敦志 グレート無茶	小林 義直 宮崎 治夫 和田 一成 箱山 正一	寺沢さゆり 松田 光平 桜井 篤 西脇かおる	若林 祥 市川 和彦 青木 敏明	公明党	5	近藤 満里 松井 英雄 堀内 伸悟	小林 秀子 勝山 秀夫	
改革ネット		7	松木 茂盛 鎌倉 希旭	塩入 学 東方みゆき	布目裕喜雄	倉野 立人	鈴木 洋一	無所属A	1	小泉 一真			
共産党		6	野々村博美 滝沢 真一	阿部 孝二	佐藤久美子	黒沢 清一	竹内 茂	無所属B	1	小林 史子			

質問の要旨

3月定例会本会議では二十八人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。



代表質問

新友会 西沢 利一

問 スマートシティの推進により、二〇三〇年のめざす姿について伺う

市長 長野の地域資源を生かし、環境と経済が調和する「モノの循環」、新たなクリエイティブを生み出し続ける「コトの循環」、多様性を認め合い人々が行き交いつながる「ヒトの循環」、外から稼ぎ地域で回す「カネの循環」の四つの循環から新産業の創出につなげていくことをめざす。

問 信州大学で検討中の新学部を誘致に向けた活動の展望、見通しは

市長 信州大学の情報系新学部は、学内において設置に向けた検討が進められていると聞いている。少子化



ラジオ体操の普及と市民の健康増進のために開催された出張ラジオ体操講習会。市長と議長も参加した

時代にあつて、優秀な学生を安定的に集めるには、満足度の高い生活環境と首都圏からのアクセスのよさも重要な要素であり、長野圏域に情報系新学部を設置することが有益と考えられることから、誘致を進めたい。

問 フレイル予防・健康寿命延伸施策を充実させる必要があると思うが

保健福祉部長 「元気に百歳プロジェクト」と称し、具体的には周知・啓発として情報発信や啓発活動の推進、健康づくりの場として市長公約であるラジオ体操の普及促進や減塩指導の実施、アウトリーチとして訪問型元氣回復プログラムの拡大や保健指導の充実を図る。

問 4月から設置することも総合支援センターとはどういうものか

こども未来部長 これまでの相談支援体制を生かし、子育て・子育ての悩みや困りごとなどを丸ごと受け止めるもの。わからないことや、ちょっと聞きたいことなども気軽に相談できる場所として利用してほしい。

問 中山間地域における市営バスを今後どのように運営していくのか

都市整備部長 中山間地域における公共交通の必要性はますます高くなっており、令和4年度から、AIを活用して予約に応じて運行するAIオンデマンドシステム運行の実証実験を、信州新町地区で行う。この方式は行きたい時間に行きたい場所へ行けることから、効率的な運行につながる。今後も利用しやすい市営バスの運行に向けて取り組んでいく。

改革ネット 松本 茂盛

問 市長が所信で掲げた基本政策で、コロナ禍・景気刺激・災害復興の緊急対策と将来ビジョンの重点課題をどう具現化するのか。公約の一つ、教育・福祉・子育てで日本一をめざ

してはどうか。また、本市をどのような都市にしたいのか、夢や抱負は

市長 私の公約した事業に百二十五億円を計上し、一年一年着実に進めていく。教育・福祉・子育ての施策推進で市民が健やかに幸福感をもてるのが結果として日本一と呼ばれれば嬉しく思う。健康増進都市をめざし、市民の心と体の健康と社会の健全性を確保して、幸福感を実感できる長野市にしたい。

問 課題が山積しているこの時期にこそ、副市長を二名選任し、一名は女性にするべきと考えるがどうか



3月定例会で選任された西澤雅樹副市長（写真は企画政策部長として答弁する様子）

市長 公約実現に向けた取り組みが始まり、様々な市政課題への確に対応するには安定した体制が不可欠。私の補佐役として、知識や経験等を踏まえ、男性、女性を問わずに総合的に判断する。

問 少子高齢化・人口減少克服は主要課題。要因は子育ての経済的不安が大きい。保育料、小・中学校給食費、高校生医療費・授業料の無償化についての考えは

市長 無償化は限られた予算の中では財源確保が課題。利用の有無等の公平性や持続可能な運営を考慮しつつ、財源の確保を図りながら子育て世代の負担軽減につなげ、不安解消に努めていく。

問 市内公共交通の定期路線は不採算が続く。市の助成が増加している。市民の足を守るため、二社の定期バス部門を市が一体化し、公設民営化で全市にわたる運行路線を確立してはどうか

市長 公共交通バス部門は民間二社と市営バスで運行しているため、二社には自主路線をできる限り継続してもらい、市は赤字を補填する。中山間地域はAIオンデマンドシステム

ム運行などを導入し、これからの時代に合った見直しを進める。公設民営化は、市民の利便性を確保する中で公共性に十分配慮し、適切に判断したい。

共産党 阿部 孝二

問 消費税導入以来大企業の法人税は四三%から二三%に、高額所得者の最高税率は七五%から四五%に下げ、消費税増税分はそれら減税分の財源に使われた。長野市の資本金一億円以上の法人九百九十一社には一年で十一億一千二百八十万円の減税、法人市民税を一千万円以上納める七百六十五社には三億八千九百六十一万円、課税標準額一千万円を超える高額所得者二千二百三十四人には十八億三千三百九十九万円の減税が行われた。一人親方やフリーランス、シルバー人材センターで働いている人はほとんどの収入が賃金に該当し、インボイス制度導入で納税義務者になれば、賃金分から消費税を納めることになる。消費税を五%に引き下げ、市民の暮らしと営業を守る立場に立つべきではないか

市長 消費税の減税によって将来世代へ重い負担を先送りしてはならな

いと考える。

問 善光寺関係者から、御開帳をスタートさせると新たな感染拡大の危惧があり、中止の判断は難しいと思うが医療関係者はどのように捉えているかと相談を受けた。病院関係者に意見を求めたところ、「屋外の行事は、一定の距離が保たれ、マスク、消毒の基本を守れば予防することはできると思う。しかし市内周遊を避け、参拝が終わったらずに帰ってほしい、滞在時間を短くすることが大切」と指摘された。参拝者数を抑え、滞在時間を短くすることが感染拡大の中で行われる御開帳のあり方ではないか。諏訪の御柱は期間を短くし、木落しと川越し、観覧席を中止した。善光寺御開帳に併せての日本一の門前町大縁日は現段階で中止と判断し、最低限の行事だけにすべきではないか。長野市、善光寺、善光寺奉賛会がそれぞれ責任の所在を明らかにし、御開帳を新たな感染拡大の契機にしてはならない決意で臨んでもらいたいが見解を伺う

市長 日本一の門前町大縁日については、これまで機運醸成に向けたイベントを実施してきたが、延期、中止したイベントもある。本番では

私が実行委員会会長を務めているので、国や県、市内の感染状況に応じ、責任をもって判断する。

公明党 松井 英雄

問 新型コロナナ対応や学校訪問等を振り返り、教育長の所感を伺う

教育長 第三次教育振興基本計画では、キーワードを協働とした。民間の教育施設、事業所との連携を一層強化し、子どもたちを誰一人取り残さない体制づくりをさらに進める。

問 生活困窮者への給付金等について、見えてきた課題、対応を伺う

保健福祉部長 求人が出ていても資格や経験不足等を理由に就労に結びつかないなど就労への壁が厚い。市社協の多機関協働事業と連携し、きめ細かな就労支援を実施していく。

問 市長は公約にIT企業の誘致を掲げている。他市との競合が予想されるが、戦略を伺う

市長 私のトップセールスを含め、首都圏等で開催される見本市に出展し、スマートシティの取り組み等をアピールするとともに、アンケート等で進出意向調査を実施し、関心の



市長に手渡された、競技団体からの要望書に添えられた署名

ある企業へ個別にアプローチを行う。

問 スマートシティ構想や行政DXに関する取り組みが進められているが、本市の未来の姿、将来像を伺う

企画政策部長 十年後のビジョンとして、サーキュラーシティNAGANOとして、サーキュラーシティNAGANOを掲げ、AIやIoTなどの先端技術の活用により、年齢や地域性による格差のない、デジタルの恩恵を受けられるまちをめざす。

※サーキュラーシティNAGANO：スマートシティNAGANOが掲げる、十年後のめざすまちの姿。長野ならではのモノ・コト・ヒト・カネの四つの循環から大きな循環を生み、新産業創出や活気あるまちをめざす。

問 堤内地への芝生グラウンド整備

についての要望書が、市民一万八千六百三名の署名を添えて提出され、議会に対しても請願が提出された。この要望書と請願は、安定した競技環境を求める市民や競技団体の強い気持ちの表れだが、所見を伺う

文化スポーツ振興部長 大変重いものと受け止めている。公共施設適正化検討委員会からの提言も反映し、今年度中に施設整備計画を作成する。

問 分散登校等で端末を家庭に持ち帰った際の通信料や通信環境について、どのように対応したか

教育次長 各家庭に負担が生じないように、希望する家庭にルーター等を貸与した。子どもたちの学びを止めないよう努めていく。

個人質問

新友会 青木 敏明

問 浅川流域の雨水調整池整備は、上流から下流までバランスのよい整備が理想だと考えるが、見解は

建設部長 これまでに北堀雨水調整池、稲田の中の池雨水調整池を整備した。東日本台風災害を踏まえ、現



整備された中の池雨水調整池（稲田・写真左）と北堀雨水調整池（写真右）

問 令和4年度から予定される豊野地区での雨水調整池整備に向けた調査について伺う

在、約一万トンの貯水計画で長沼雨水調整池の整備を進めている。上流から下流までバランスよく雨水調整池が整備されるのが理想と考えている。

建設部長 流域住民の治水リスクへの不安を受け止めて、整備に向けて調査するもの。地域の理解と協力を得ながら詳細を検討し、早期に整備ができるよう取り組みたい。

改革ネット 倉野 立人

問 長沼地区の定住人口維持・回復



長沼地区に整備される河川防災ステーションのイメージパース

の視点で活性化の課題と取り組みは

企画政策部長 ハード整備は着実に進捗しているが、人口流出等でコミュニティ維持が課題。庁内検討チーム「ワン・ハート」により、今後も市と地域が一緒になって取り組む。

問 第四次長野市地域福祉計画と長野市都市内分権基本方針の整合は

保健福祉部長 持続可能な取り組みの観点からめざす方向は同じで整合は図られる。引き続き緊密に連携し

ながら住自協の活動を支援する。

問 働く女性の家への対応にみる本市の公共施設マネジメントの考え方について、2階フロアを災害備蓄庫ありきの説明で市民感情を逆なでするような対応をどう捉え、今後どのように市民と向き合っていくか

地域・市民生活部長 長年愛着をもって講座を受講してきた利用者感情への配慮が足りていなかった。

総務部長 総合的な視点からの説明、早い段階からの情報提示等、理解を得る時間も考えながら対応していく。

共産党 滝沢 真一

問 政府は地方自治体の情報システムを集約するガバメントクラウドの導入を進めており、アマゾンとグーグル社のサービスを使用するとした。アメリカのクラウド法のもとでは企業は所有するデータの提出命令に従わなければならない、このままでは他国へ情報が筒抜け状態。移行する情報に市民の個人情報が含まれているのでは。ガバメントクラウドの利用は義務ではない。個人情報が保護されないのであれば見直すべきでは

総務部長 個人情報も移行の対象と

なる。強制ではないので、国の対策を注視し、ガバメントクラウドの利用について慎重に検討していく。

※ガバメントクラウド：政府共通のクラウドサービスの利用環境で、迅速柔軟かつセキュアで、コスト効率の高いシステムを構築可能とすることをめざし、地方公共団体でも同様の利点を享受できるように検討を進めているもの。

新友会 箱山 正一

問 日本一の門前町の独自性とは

市長 これまでも広域的な都市の核として長野駅や善光寺周辺、中央通り沿いを中心とし、都市の再構築の



門前町の景観に合わせたリノベーション

取り組みが進められてきた。門前では若者が主体となったリノベーションによる遊休不動産の活用や、中央通り沿いでは官民連携による新たなまちづくりの動きもみられ、様々な人の交流が生まれている。これからも門前町固有の資源を活用し、これまで発展してきた文化を大切に、世界中の人々とさらなる交流を育むまちにしていきたい。

公明党 小林 秀子

問 情報から取り残されている高齢者への支援で、地域公民館にWiFi環境を整え、デジタル活用支援員を派遣して講座を開設しては

総務部長 まずは市立公民館等のWiFi環境を整え、活用してもらうよう検討する。講座開設には、デジタル活用支援員の認定を受ける人材が増えることで地域公民館での開催も視野に入ると考え、人材確保に重点を置いて進める。

問 市役所の窓口にデジタル活用支援員を配置すべきと考えるが

総務部長 特に来庁者の多い窓口付近にはデジタル活用支援員を配置するなど、最適な方法を検討する。

新友会 金沢 敦志

問 高田若槻線の未開通区間である五分一からの延伸にどう取り組むか

都市整備部長 当該路線を当初の廃止候補から継続検討に改める予定。

問 北八幡雨水調整池改修の住民説明会の開催や事業スケジュールは

建設部長 令和4年度の早い時期に地区の関係役員に報告、説明予定。

4年度は水路かさ上げ、河床部整備、雨水計の新設などの対策を継続し、調整池の掘り下げ工事に着手する。

新友会 北澤 哲也

問 空き家問題打開への増税策として、優遇措置軽減の導入の可能性は

財政部長 空き家法に基づき、特定空き家等の認定、勧告を行った場合には、住宅用地の特例の適用を除外しているが、今後は導入を研究する。

問 首都圏の大学等の地方移転を誘致する材料として、農地を転用した学園都市地域をつくる考えは

企画政策部長 大学等の地方移転を促すための魅力的な取り組みなので、

可能性等について研究していく。

改革ネット 鈴木 洋一

問 市指定文化財旧作新学校本館改修整備について、市には確実な財源確保の道を探ってもらいたい。同館改修事業は、県の地域発元気づくり支援金の趣旨に合致しており、支援金の認可に向け、市の積極的な関与を求める。また、より有利な補助率の公共的団体として適用されるよう取り組むことができないか。さらに、新年度以降の具体的な改修計画を、どのように策定しているのか

教育次長 元気づくり支援金の活用に向けて現在情報収集している。財源確保に向け、ほかに活用できる制度がないか検討していくが、まずは支援金の交付をめざしたい。申請団体について、ソフト事業は地元改修委員会の主体事業とすることで、より有利な補助率の公共的団体として申請することも可能で、地元と協議していく。建物本体は、市が申請団体になると考えている。新年度以降の計画は、新年度に予定している耐震診断及び実施設計により明らかにするが、令和5年度以降、できるだけ早期の着手、完了をめざす。



市指定有形文化財「旧作新学校本館」(昭和56年8月17日指定)

※旧作新学校本館：下水鉤小学校の前身「作新学校」の校舎として明治16年に建築された擬洋風建築物。昭和31年に民間工場に移築。譲渡された後、昭和48年に下水鉤小学校一〇〇周年記念事業として、現在の下水鉤小学校敷地内に再移築された。

新友会 加藤 英夫

問 市長の本市農業に対する思いは

市長 力強い農業の実現に向け、農業振興を図る施策を全力で推進する。

問 さらになるグローバル化を見据え、農産品輸出に力を注ぐべきでは

農林部長 PR活動を展開しつつ、長野県農産物等輸出事業者協議会と連携し、継続的な情報収集に努める。

問 プロスポーツチームのアウェーでの試合で本市特産品の販路拡大、知名度アップにつなげられないか

文化スポーツ振興部長 連携推進ビジョンの取り組みの中で課題を調査、研究し、実施に向けて検討する。

新友会 桜井 篤

問 成年年齢の18歳引き下げによる消費者被害に、どう取り組むのか

地域・市民生活部長 相談員を学校へ派遣し、身近なトラブルの具体例も交えて啓発している。今後も教員研修の充実を図り、新たな対象者が消費者被害に遭わないよう取り組み。

問 長期戦略二〇四〇の進捗状況は



ジビエ普及のため長野県立大学の学生と市が共同で開発したジビエ料理の数々

企画政策部長 スマートシティの推進、ジビエ料理やZ世代向けコンテンツの開発等を実施。今後も世界に誇る新産業の創造をめざし、長野圏域の経済基盤の底上げを図っていく。

共産党 竹内 茂

問 勤労青少年ホーム三施設の附属体育館は存続すべきでは

市長 老朽化、耐震性が課題。建て替えまでは困難で、やむをえない。

問 移動期日前投票所が大変好評だった。他地区にも広げたらどうか

選挙管理委員長 想定を超える効果があった。他地区と十分な相談をも



昨年10月の市長選・衆院選で開設された移動期日前投票所

ちながら対応していきたい。

問 学校トイレの洋式化工事では床や壁がそのまま残された。気持ちいいトイレとは言い難い改修工事だが

教育次長 早期に安心して学習に集中できるように加速化して改修した。

無所属 **小泉 一真**

問 平成26年に発覚した本市初のいじめ重大事態について。被害児童保護者は、昨年5月、市長宛て再調査を訴える機会を教育委員会に求めたが実現は8月。3カ月以上放置されていた理由は

教育次長 コロナの第五波も重なり、このような期間がかかってしまった。

問 部課長級退職職員の再就職の状況は公表されているが、特別職は

総務部長 今後公表の対象とするか、改めて検討したい。

新友会 **西脇かおる**

問 今後の厳しい財政運営を乗り切るために、どのような点に着目し、何をすべきか

財政部長 新規・拡大事業は、これ

まで以上に将来的視点を十分に踏まえ、必要性や規模を客観的かつ的確に判断する必要がある。財源確保のため、スクラップ・アンド・ビルドの理念のもと、施設や事業の廃止、縮小、統廃合も必要。また、市民サービスに係る利用者負担、利用料金の適正化の観点から、受益者負担の原則に基づき、コストに見合う適正な負担額に見直しが必要と考える。

公明党 **勝山 秀夫**

問 建築基準法の改正により、狭い道路整備事業の事前協議書の提出が任意となり、事業が後退したと感ずる。関係機関に事業の目的と制度



道路後退用地の整備を行い、安心して安全な道路環境づくりを進めている

の理解を図り、安心して安全なまちづくりを推進してもらいたい

建設部長 関係機関等を通じて市民に事前協議書の提出をお願いし、狭あい道路の整備を着実に推進する。

問 北部幹線第二区間の早期開通を要望する。今後の見通しと事業促進の決意を伺う

都市整備部長 来年度、地元の熱意に応えるべく古里小学校前交差点部の測量設計を行う。地域の理解と協力を得ながら早期事業化に取り組む。

新友会 **手塚 秀樹**

問 今後の財政運営が非常に懸念されるが、所見は

財政部長 市民サービスや公共施設など、今あるものは不変ではない。社会情勢や人口構造の変化に応じてかたちを変えていくべきと考える。

問 民生委員の役割はますます重要。諸問題に対する市の取り組みは

保健福祉部長 活動の目安と考え方に関するQ&Aを作成し、配布予定。機会が失われた会議や研修の開催もICT活用などで取り組む。

問 いじめ問題への対応は

教育次長 本市における過去の重大事態や解決困難事案等の教訓、様々な対応事例の積み重ねを生かし、未然防止、早期発見、早期対応などに重点的に取り組む。

問 中心市街地活性化基本計画の再認定は必要。計画策定の見通しは

都市整備部長 長野中央西地区の計画策定により、各重点プロジェクトの事業推進に見通しがついたことから、新組織のもとで策定に取り組む。

新友会 **和田 一成**

問 新型コロナウイルス感染症や原油高で深刻な影響を受けている観光関連指定管理施設への支援は

商工観光部長 最終的に損失が生じる場合には、全庁的な方針に基づき指定管理者と協議、調整し、市がやむをえないと認める所要額を市が負担することを含め、対応を検討する。

問 特別豪雪地帯の雪害への支援は

危機管理防災監 住宅除雪支援員派遣事業対象世帯が、命綱固定アンカーや雪止め金物等、作業の安全性を



災害公営住宅美濃和田団地にある集会所

確保する設備を設置した場合、経費の半額につき八万円を上限とする補助を、令和4年度予算案に計上した。

共産党 佐藤久美子

問 障害者虐待防止法が施行され十年。虐待通報の件数と対応はどうか

保健福祉部長 虐待通報は令和元年度二十九件、令和2年度四十五件で五年前からは二・五倍に増加。障害者虐待防止連絡協議会で関係機関と連携し、権利擁護サポートセンターを設置して通報や相談を受けている。

問 美濃和田災害公営住宅の入居者にお困りごとアンケートを行い、ま

た、孤立化を防ぐ対応を要望するが

建設部長 アンケートは早期に実施する。孤立化防止のため保健師の巡回訪問を再開し、集会所でサロン等の交流事業を行うなど支援していく。

公明党 堀内 伸悟

問 移動困難者の移動手段の確保について、交通不便地域の解消も含め、今後どのような施策を展開するのか

都市整備部長 中山間地域でA Iオデマンドシステム運行の実証実験を準備中。市営バスエリアの拡大も検討している。関係機関と連携し、利便性の向上や利用促進施策を実施し、公共交通の構築に取り組む。

問 介護申請から認定までに要する日数を短縮する取り組みの進捗は

保健福祉部長 要介護認定に要する日数は、令和2年度までの五年間の平均で四十六・七日。業務改善とICTの導入により、要する日数を五日間程度短縮することをめざす。

新友会 グレート無茶

問 長野市で開催されるイベントは、

市内事業者優先で発注すべきでは

市長 同感である。市が関与するものは市内事業者への優先発注に極力配慮するよう、協力をお願いする。

問 生活保護の現状と今後の考えは

保健福祉部長 生活保護の予算は約五十五億円。予算を確保しつつ生活保護に至る前の自立相談支援事業や就労訓練事業に取り組むことが肝要。

問 ごみゼロキャンペーンの考えは

市長 ごみ拾いを行う団体を積極的に支援し、御開帳期間中は一斉清掃の実施を計画。御開帳期間中に限らず、環境美化の取り組みを進める。

無所属 小林 史子

問 新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」に欠かせない「調べ学習」を支えるには、司書教諭、学校司書、学級・教科担任の連携が重要だが、司書教諭は担任をもつなど多忙であり、学校司書は勤務時間が短いという課題があるのでは

教育次長 司書教諭は専任配置ではないため、学校司書が図書館業務を担うことも多く、勤務時間が不足と



調べ学習のため分野ごとに蔵書が整えられている学校図書館

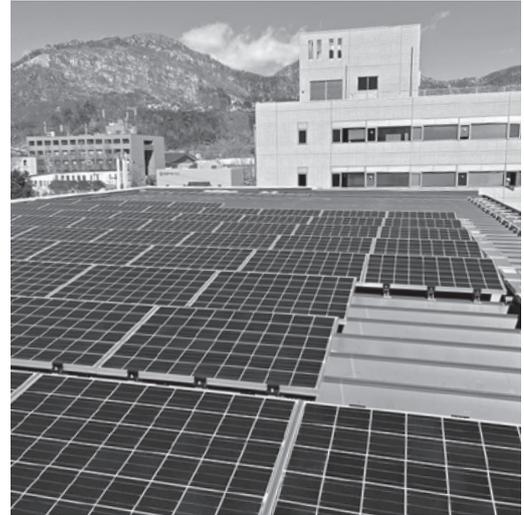
の声もある。教職員定数の改善とともに、専任の司書教諭配置について、様々な機会に国や県に働きかける。

共産党 黒沢 清一

問 児童・生徒に配置したタブレットは、多くのクラスで同時に使えばWiFiが間に合わない。コロナ禍で適切な環境整備が必要では

教育次長 令和4年度には、インターネット環境のさらなる強靱化を進め、校内環境も整備していく。

問 長野市第三次環境基本計画では、公共施設において再生可能エネルギーの積極的な導入を図っているといるが、長野市の目標と現在の到達点は



平成29年3月に中央消防署屋根上に設置された太陽光発電設備。発電容量は15キロワット

環境部長 二〇二〇年度の太陽光発電装置の設備容量は一千六百三十八・六キロワット。二〇二六年度までに二千三十八・六キロワットを目標としている。

改革ネット 東方みゆき

問 公式ホームページの大幅更新にあたり「みんなを大事に思っているよ」が集結したサブサイトの構築を

企画政策部長 こども総合支援センターの子育ち支援を踏まえ、「みんなを守っているよ」が集結した情報発信を今回のリニューアルで進める。

問 政策形成過程に若者が主体的、継続的に参画できる仕組みを

企画政策部長 新年度早々に(仮称)SDGs未来会議を設置する。審議会委員の四十歳代以下は一八・一％で、参画機会の増加に鋭意努める。

※(仮称)SDGs未来会議：長野の未来を担う若者の声を聴き、持続可能なまちづくりに活かす。若者同士がつながり、具体的な活動のきっかけとなる場をめざすための会議。

問 女性や若い世代の農業の担い手確保でトイレ問題をどう考えるか

農林部長 戸外現場の女性のトイレ問題は特に配慮が必要と認識。国の事業や制度があり、女性農業者グループや地区の希望を伺い対応する。

問 多頭飼育などペットを飼う世帯へ、多機関連携の社会福祉的支援を

保健福祉部長 適切な支援先につなぐよう関係機関と連携し、取り組む。

新友会 松田 光平

問 行政DXの実現のために双方向の高速通信網が必要。5Gエリアは限定的なため、支所にもローカル5Gを導入すべきではないか

総務部長 企業や自治体が特定の建物内で構築するローカル5Gは導入費用が高価だったが、大幅な値下げ

の動きも出てきた。新しい生活様式が定着してウェブツールの使い方も変化し、今後庁舎内の通信回線のグレードを上げなければいけない可能性も出ており、十分に状況を見極め、導入について検討を進めたい。

新友会 小林 義直

問 市長が描く夢と、選挙時公約の具現化に向けた決意は

市長 平和な市民の暮らしを守り、誇りをもって未来の世代へと引き継ぐためにも、今後の市政運営に全力を傾けたい。世界の中で光り輝き続ける長野市でありたいということも私の夢の一つであり、スポーツや文化の可能性を信じ、長野から世界への道をつくり続けたいと考えている。

問 耕作放棄地から新しい価値が生まれる農業用ソーラーシェアリングに対する本市の考えは

農林部長 営農型太陽光発電の設置は、設置場所によっては耕作放棄地対策に資するほか、農産物とエネルギーの地産地消、スマート農業や農福連携への取り組みに発展する可能性がある。取り組みの意向があれば、優良農地の確保や地域との共生を前



長沼地区穂保における営農型太陽光発電施設

問 提に、実現できるような相談に応じる。裾花川と裾花・奥裾花ダムの浚渫、旭山の崖崩壊対策の状況は

建設部長 県と国で浚渫工事、崩壊対策をそれぞれ着実に実施している。

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録画でご覧いただけます。また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索でご覧いただけます。

(注) 3月定例会の本会議の会議録検索へのアップは、6月上旬に行う予定です。



審議結果については、4・5
頁の審議結果一覧を併せて参
照ください。

常任委員会のうごき

福祉環境委員会

●ひきこもり支援事業について、一人でも多くの人が、生きがいをもって社会で活躍できるように、ひきこもり当事者や家族に寄り添った支援を行うよう要望した。

●民生・児童委員の活動について、活動指針やマニュアル等の作成、研修の実施はもとより、精神的なフォローなども丁寧に行うなど、委員の活動をバックアップしていくよう要望した。

●4月からスタートすることも総合支援センターは、子どもに関するあらゆる相談をワンストップで受け付けると報告があったが、今後、専門性をもったチームで対応する体制づくりを確立し、継続的で部局横断的な支援が一貫して行われるよう要望した。

●循環型社会の実現に向けた活動に、環境部主導のもと、全庁的に取り組みを強めるよう他部局へ働きかけることを要望した。

●請願第二号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

経済文教委員会

●農福連携の推進について、農業の

働きの確保や障害者の雇用、付加価値の向上などが期待できることから、農業者と障害者の双方に配慮しながら進めていくよう要望した。

●学校施設の長寿命化改修について、学習環境の改善を図り、よりよい資産を次世代に引き継ぐため、カーボンニュートラル対応への取り組みやユニバーサルデザイン等の観点を取り入れた改修となるよう要望した。

●日本一の門前町大緑日事業について、感染予防・拡大防止策を確実に実施するとともに、開催の可否も含めて柔軟な運用をするよう要望した。

●芋井飯綱辺地総合整備計画を定めることについて、飯綱高原がグリーンシーズンの観光誘客拠点となり、地域の魅力や利便性の向上につながる



4月にオープンし、飯綱高原の新たな誘客拠点として期待される「森の駅Daizahoushi」

る整備となるよう要望した。

●請願第三号は、全員賛成で採択すべきものと決定した。

●請願第四号、第五号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

建設企業委員会

●市では、国の緊急浚渫推進事業を有効に活用し、緊急に堆積土砂の撤去等が必要な河川について浚渫を進めており、令和2年度から6年度までの五年間で、三十六河川の浚渫を計画している。本計画を積極的に推進するとともに、三十六河川以外の河川についても、土砂の堆積状況などに応じて浚渫を進めるよう要望した。

●もんぜんぷら座は、スーパーや子育て支援施設、オフィスなどが入居する中心市街地の拠点の一つであり、もんぜんぷら座を含むエリアの整備については、地域住民や利用者の関心も高いことから、着実に検討を進めるよう要望した。

●市では、市営住宅の長寿命化対策を進めており、新年度は、市営住宅返目団地全面改善・建て替え事業をはじめ、市営住宅のエレベーター、屋根、外壁の改修工事などが予定さ

れている。財政負担の平準化を図りながら、計画的に長寿命化改修を実施するよう要望した。

総務委員会

●公共施設マネジメントを進めるにあたっては、公共施設全体を見渡した総合的な視点での説明や利用者の視点に立った説明、検討の早い段階からの情報提供や施設利用者等との意見交換など、皆様が理解するため必要な時間も確保しつつ、取り組むよう要望した。

●やまざと支援交付金事業について、地域の実情や抱える課題は地域ごとに様々であることから、地域の声を丁寧に聞き、それぞれの実情をよく把握した上で、今後の継続的かつさらなる支援を要望した。

●来年度から新たに開始する消防団の大規模災害団員制度について、制度創設の目的や活動内容等について改めて各分団へ丁寧な周知を行うよう要望した。消防団活動に対する市内事業所の理解を深めるためのさらなる広報に取り組み、会社勤めの消防団員が消防団活動を行いやすい環境づくりを推進するよう要望した。

●請願第一号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

特別委員会のうごき

観光戦略調査研究 特別委員会

2月に開催した委員会では、ポストコロナの活性化策として、善光寺御開帳後の観光誘客及びスポーツコンベンションの推進について調査した。

調査では、観光誘客の現状が「旅行者を囲い込む」時代から、旅行者が「地域の生活エリアで地域の人々と交流する」時代へと変化していることから、「人と触れ合うサイクリングツアー」等、「旅マエ」、「旅ナカ」、「旅アト」で、「人」とつながる、「人を訪ねる旅」の造成に係る取り組みについて研究した。

協議においては、観光に関するアンケート調査の結果が提供され、今後研究を進めていくこととした。

3月に開催した委員会では、長野市観光振興計画の年次計画や、御開帳期間の誘客に係る取り組み及び御開帳関連事業における感染症防止対策について調査し、訪れる方の安全・安心について要望した。

協議においては、市民と議会の意見交換会のテーマを中心に議論した。

公共交通対策調査研究 特別委員会

1月及び2月の委員会では、公共

交通のまちづくりへの活用、地域公共交通活性化再生法の改正、Maas等について調査、研究した。

公共交通の維持について、燃料等のコスト上昇、排気ガス対策の必要性、運転手不足の深刻化、サービスの多様性で大変厳しく、みんなが努力する必要があるとの意見があった。3月の委員会では、バス共通ICカード(KURURU)システムの更新と中山間地域オンデマンド交通システム先行導入(モデル)事業について調査・研究を行った。

バス共通ICカードは令和7年に更新を迎える予定で、協議の場となるICカードシステム運営委員会においてよく検討し、市民の利便性も高くなる更新となるよう要望した。

令和4年12月からは信州新町地区でオンデマンド交通システムが先行導入される。AIの活用により利用者とデマンドタクシー等をマッチングすることで、効率的な運行が期待される。

農林業振興対策 特別委員会

1月には管内視察を行い、JAGリーン長野の農業機械センターにおける農家のニーズ、新規就農時に必要な機械と概算額、機械の更新と世

交代の関連などについて伺った。また、製材から住宅建築までを行う市内事業者からは、木材の地産地消として、県産材利用による住宅建築の取り組みについて伺った。

2月には長野市農業公社と意見交換を行い、農家の人手不足に対するお手伝いさん事業について、農家の労働力支援とともに障害者の就労機会の創出にもつながる農福連携^{あふせん}について、また、農地の集約や斡旋^{あつせん}等の取り組み状況や課題について、意見を交わした。

3月には農業委員会役員と意見交換を行った。多様な担い手の確保・育成について、スマート農業^{スマートなごん}について、人・農地プランの今後の展開についての三つの課題で意見を交わし



1月の管内視察では、県産材の利用に関連して、製材の工程について説明を受けた

た。昨年7月に続く意見交換会であり、本市の農業振興について熱心な議論が行われた。

災害対策等調査研究 特別委員会

令和2年に初めて本委員会が設置されて以降、市民の避難に着目し、避難所の開設及び運営マニュアルについて調査を続けてきた。

2月に開催した委員会では、令和元年東日本台風災害対応の課題や新型コロナウイルス感染症の対策が盛り込まれた避難所運営マニュアル(素案)について調査した。

3月の委員会には、委員からの意見や要望も反映したマニュアル(案)が提出され、今後、市職員の研修・訓練等を重ねることにより、災害時にマニュアルを活用した避難所運営を行うよう要望した。

また、2月の委員会では、災害時に要介護者や重度障害者など自ら避難することが困難な避難行動要支援者が逃げ遅れることがないように、個別避難計画の作成についても引き続き調査した。

真に支援を必要としている人を把握することや地域の協力を得ることなど難しい課題は多いが、きめ細かな対応を続けるよう要望した。

令和4年
5月21日(土)
開催

市民と議会の意見交換会

4つのテーマに分かれて、市議会議員と一緒に考えてみませんか

午前の部 10:00~12:00
【受付時間】9:30から

テーマ1 【定員：19名】

持続可能な農林業を目指して
～農業の持つ魅力について・林産業を活性化して長野市の森を守る～

テーマ2 【定員：19名】

災害から自分たちの命を守るために
～適切な避難を考えよう～

午後の部 13:30~15:30
【受付時間】13:00分から

テーマ3 【定員：19名】

**善光寺御開帳後の観光誘客の取組と
スポーツコンベンションの推進について**

テーマ4 【定員：19名】

公共交通について
～あなたが利用できる公共交通とは～

参加方法

- 入場無料
- 事前申込が必要です

参加ご希望の方は、必要事項（お名前、ご住所、連絡先電話番号）を明記の上、長野市議会事務局まで応募フォーム、FAX（224-5105）または郵送（〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地）により**5月6日(金)午後5時**までにお申し込みください。



応募フォームはこちら

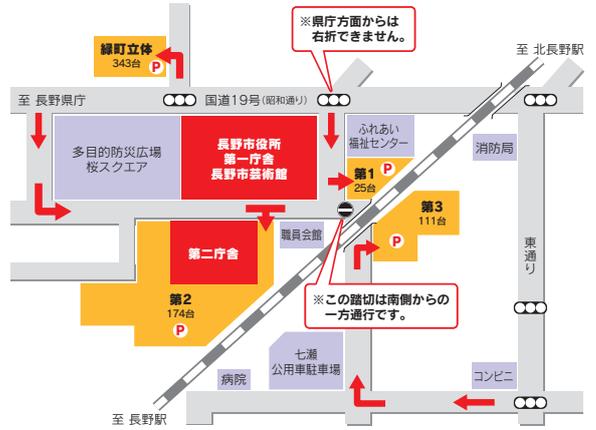
※注意事項

- 参加申込にあたりお気づかりした個人情報、「市民と議会の意見交換会」の統計業務及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策にのみ利用させていただきます。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加可能な人数に限りがあります。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 申込者全員をオンライン参加に変更する可能性があります。その際、Zoomの操作研修はできませんので、ご承知おください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日、発熱など体調不良の場合は、ご欠席ください。会場での手指の消毒、マスク着用にご協力ください。なお、マスク着用のままご発言いただきます。（オンライン参加者は除く）
- 当日の様子を撮影し、議会の広報紙、ホームページで紹介いたします。ご了承ください。

会場

長野市役所 第一庁舎、第二庁舎
（受付場所：第一庁舎 1階 市民交流スペース）

お車でのご越しの場合は、市役所駐車場（下図参照）をご利用ください。駐車券無料処理をいたします。



- 編集委員**
- 委員長 松井英雄
 - 副委員長 桜井篤
 - 委員 箱山正一、小泉一真、佐藤久美子、東方みゆき、和田一成、加藤英夫

編集後記

新型コロナウイルス感染症第六波の収束に向けて三回目のワクチン接種が重要であり、長野市においても追加接種が進められています。そのような中、ロシアのウクライナ軍事侵攻を受け、三月定例会において「ロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議」を可決しました。ウクライナに再び平和が訪れる日まで、連帯の意を表し、できる支援を行ってまいります。

6月市議会定例会 会議予定

6月9日(木) 本会議(会期の決定) / 議案上程

10日(金) 14日(火) 休会

15日(水) 本会議(一般質問(個人))

16日(木) 本会議(一般質問(個人))

17日(金) 本会議(一般質問(個人)) / 議案質疑等

18日(土) 19日(日) 休会

20日(月) 委員会(福祉環境 建設企業)

21日(火) 委員会(総務・経済文教)

22日(水) 23日(木) 休会

24日(金) 本会議(採決)

●日程案は変更となる場合があります。

●「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。

●傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。マスクの着用をお願いします。

●本会議：第一庁舎8階(傍聴席入口)

●委員会：第一庁舎7階(議会事務局)

●乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。(いずれも無料)

長野市議会

長野市議会ホームページ
https://www.city.nagano.nagano.jp/site/gikai/
E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

検索